



わくわく倶楽部

江口グループ

第 131 号

平成30年6月発行



不機嫌を無くして、みんなで上機嫌になろう!!

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

今 月も江口グループわくわく倶楽部のニュースレターを読んで頂きありがとうございます。先月何年振りかの社員旅行で東北へ行ってきました。被災地を訪れたり、世界遺産の平泉へ行ってきました。とても楽しい2日間でした(^^)中面に旅行の様子を紹介しています。

明治大学教授、齋藤孝さんの「不機嫌は罪である」を読みました。自分はいろいろと勉強させて頂きました。これ読んで不機嫌な人が少なくなると楽しくなるんじゃないかと思いました!一部をご紹介します。

あ あなたは日々の生活のなかで、次のような人を見かけたことがないでしょうか。朝の通勤ラッシュ時、満員電車で少し肩を押されただけで舌打ちをしている人。ご近所同士で挨拶しようとする、スタスタと歩いていってしまう人。スーパーマーケットで小さな子どもが泣き出しただけで、眉をひそめる人。飲食店のスタッフが少し雑談をしているだけで、クレームをつける人。電車がちょっとでも遅延すると、駅員に詰め寄って怒鳴る人。ベビーカーを見かけると、「邪魔」という感情を隠さない人。朝出社したときに、同僚に挨拶もせず、仏頂面でデスクに向かう人。会議で自分の提案がうまく通らなかったといって、つっけんどんになる人。部下が失敗したときに、周囲の目も気にせず、ヒステリックに怒鳴りつける人。挙げていくときりがありませんね。どれも、おそらく心当たりのある光景ではないでしょうか。しかもこうした行動をとっている人には、地位も分別もありそうな方もかなりいらっしゃいます。もしかしたら、あなた自身もこれらの行動をとってしまい、後悔したこともあるかもしれません。あるいは、自分がそうした行動をとっていることに気づかずに、周囲から「あの人が不機嫌だな」と敬遠されている可能性もあります。機嫌とは、人の表情や態度に表れる快・不快の状態です。つまり不機嫌とは、不快な気分を表情や態度に表しているさまをいう言葉です。現代を生きる人の多くがかかえているのは、行き場のない「慢性的な不機嫌」です。情報伝達の差し迫った必要性があるわけでもなく、不快であることを伝えても事態は何も解決しないのに、無意味な不機嫌を世の中に撒き散らしている人があまりにも多い。電車の中で舌打ちしたからといって、満員電車が解消されるでしょうか?インターネットで書き散らした罵倒が、社会を良くしたことがあったでしょうか?誰も「舌打ちや罵倒をしたら事態が良くなる」と思っているわけではないのに、表に不機嫌が滲み出てしまっている。現代人は四六時中誰かの不機嫌な言動にさらされ、ちょっとずつ精神を消耗しています。そして自らも、知らず知らずのうちに不機嫌に侵食されてしまっているのです。

中年から老年にかけての男性の不機嫌の問題をいち早く取り上げたのが、シェイクスピアの『リア王』でした。リア王は、愛情深い末娘が自分におべっかを使わないことに激昂して彼女を追放し、甘言を弄する上の娘たちをかわいがった結果、身を破滅させて荒野をさまようこととなります。老人の不機嫌が招く悲劇をこれ以上なく描いた作品です。さすがにこの本をお読みの方の中に国王はいないでしょうが、身につまされる教訓が詰まった作品です。プチ「リア王」にならないためにも、まずは自分の不機嫌に自覚的になってみてください。「40歳を過ぎたら、普通にしていっても不機嫌そうに見える。上機嫌くらいでちょうどいい」と自覚するだけでも変化が起きます。

い つも上機嫌」と聞いたとき、あなたはどんな印象を抱くでしょうか?お調子者で何も考えていない不用意な人なのではないかと考える人も多いかと思います。逆に「いつも不機嫌」というと、しかつめらしい顔をして難しいことを考えている、つまり「頭がいい人」と考えるのではないのでしょうか。知的な人間はやたらとニコニコと愛想よくふるまわない、作家や学者というのは根暗で不機嫌なものだという風潮が根強く存在しています。まず正しておきたい誤解が、知性と機嫌は決して結びついてはいないということです。機嫌というのは理性や知性とは相反する分野のように思われがちですが、気分をコントロールすることは立派な知的能力の一つです。仏頂面をしている人、他人に辛辣なことを言う人のほうが、よく物を考えているように思えるかもしれません。ところが実際は、前向きに生産性のあることを考えている人の頭やからだは柔軟に動いています。表情もやわらかですし、ポジティブな空気を発するものなのです。不機嫌がクセになると頭も身体も動きにくくなります。運動不足と同じで、心の運動能力が下がってしまうんですね。気分をコントロールすることは心の運動能力を維持し、仕事や人間関係のパフォーマンスを上げる知的技術です。

人 問の最大の罪は不機嫌である」と言ったのはドイツの詩人である、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ。人間の最大の罪とはかなり大袈裟のように感じます。でも笑顔やあくびが伝染するのと同じように、不機嫌もあつという間に伝染するということを考えるとそれも納得できます。家庭や会社の中において、朝から晩まで全員が不機嫌だと思ったら、その家庭も会社も早晚崩壊してしまいます。上機嫌も不機嫌もあつというまに周りに伝染します。どうせ伝染するなら上機嫌の方がいいに決まっていますよね。毎日を、上機嫌で暮らしたいなと思っています。



4代目の江口グループ現場だより

土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^-^)/

楽しい社員旅行に行ってきました。江口グループ東北の旅

5月18日19日の2日間、東北方面へ社員旅行に行ってきました！1日目は宮城県、2日目は岩手県と回ってきました。初日は日本三景の一つ松島、そして石巻へ行ってきました。松島の島を巡るフェリーの中では皆で大盛り上がり、景色はちゃんと見てたのかな？その後、石巻市へ行って東日本大震災で被災された方のお話を聞く機会があり、当時の様子、そして復興の状況などを教えてもらいました。今石巻は津波に強いまちづくり、そして復興へと進んでいます。沢山の工事をしていました。私たちの仕事も同じです。やっている仕事が強いまちづくり、住む人の安心安全な暮らしを守っている仕事なんだと気持ちを強く持つことができ、いい勉強になりました！2日目は、岩手県の平泉中尊寺へ『夏草や兵どもが夢の跡』世界遺産の中尊寺金色堂を満喫してきました。2日目は雨が上がって今日はいいい天気～緑がキレイ過ぎでした！沢山の楽しいことがあった社員旅行でした(^-^)



石巻では地震のお話を聞きました



江口グループもがんばろう！石巻



日本三景の松島をバックに



平泉の毛越寺で

お旅祭り。材木町の曳山組立と解体のお手伝いを行いました！！

5月に行われたお旅祭り。お旅祭りでは毎年曳山の上で子ども歌舞伎が上演されます。その曳山の組立に江口組社員が参加しました。材木町の皆さんから、若手が少なくなって大変だということで応援を頼まれました。材木町は会社の隣の町内、そして10年前には材木町の道路工事をさせてもらったご縁があることと、社長もお旅まつりが大好きということもあり、快く引き受けさせて頂きました。参加した社員たちは初めてのことで最初は戸惑いながらも、段々と慣れてきたみたいで曳山の上にあがり作業をがんばっていました！地域とのつながりができたいい経験だったと思います。こういうことをこれからも大事にしていきたいなと思いました！



町内総出での組立作業



高木くん組立解体がんばりました



1日かけて完成しました

JCカップに協賛させてもらいました！



未来の日本代表選手たち



協賛企業として参加しました

5月19,20日と小松市内で行われた少年サッカー「JCカップ」に江口組は協賛企業として参加させてもらいました。「JCカップ」は、サッカーを通じて、子供たちに「グッドルーザーの精神」(＝たとえ勝負に負けたとしても相手を称えられる強く前向きな心)を伝え、道徳心を持った自立した人財を育むことを目的とした大会です。参加した子供達の中から、未来のサッカー日本代表、W杯を目指す選手が出てきてくれたら嬉しいです！！

地図に新しい道ができました。南加賀道路粟津ルートが完成！

地図に新しい道ができました。江口組も工事に携わった南加賀道路粟津ルートの開通式が5月20日に行われました。谷本知事や佐々木代議士など多くのご来賓の方々が参加され盛大に開催されました。江口組が工事をしていたのは、もう1年半ほど前。それからJRの線路を越す橋が架けられる工事があったりと、やっとキレイな道路に完成しました！南加賀道路の完成によって、小松ICや小松空港から粟津温泉方面へのアクセスが向上します。観光や産業の発展につながり、そして地域の方々の利便性があがり、また粟津駅までの踏切を通過していた車がこちらを利用することで子供達の通学の安全を確保することができるようになりました。ぜひ通ってみて欲しいなと思います。



テープカット



開通式後歩いて渡りました

6月16,17日の2日間、加賀市大聖寺福の杜で楽しい企画がいっぱい 宅地分譲相談会&イベントを開催します~!!

—加賀市大聖寺で3年前に江口組が造成し、清水不動産が販売している大聖寺福の杜。全85区画が好評分譲中です。福の杜は、まちの遊び心が楽しい町として、さまざまな工夫がいっぱいの新しい町です。その一つに、信号機がなく、車の流れが交差せずに事故が起きにくく、災害時に停電しても通行できるメリットがあるといわれる「ラウンドアバウト」が設置されていたり、住む人の健康を考えて町をぐるっと周るウォーキングコースがあったり、動物の足跡があちらこちらにあったりと、いろんな工夫がある町となっています。現在は3分の1ほどの区画に住宅が建ち、活気が出てきています。近くにはスーパーやドラッグストアが近くにあり、学校も近くにある住みやすい町です。

この大聖寺福の杜で、6月16,17日の2日間「宅地分譲相談会」を開催します。宅地の分譲だけでなく、北國銀行さんによるローン相談、石友ホームさんとウッドライフホームさんの住宅見学会、またクリエイション江口の住まいとお庭の相談会を開催します。クリエイション江口の住まいとお庭の相談会では、仮想住宅とお庭のご提案、フェンスやカーポートのエクステリアの展示を行います。そして、各種相談会や見学会だけじゃなく、大人も子供も楽しめる企画も行います。子供たちに人気の“ふわふわ”や小松市のダイナミックさんによる“ウォーキング教室”、“パフォーマー”さんが来てくれたり、“加賀野菜つめ放題”など盛りだくさんの内容となっています。また江口組が「子ども現場監督体験」を開催します。“ドローンによる記念撮影とドローン操縦”、“ショベルカーとタイヤショベルの試乗体験と記念写真”、そして“測量体験”と現場監督の仕事をヘルメットかぶって体験してもらいます。体験してくれた子どもたちには記念品も用意してあります。またお父さんお母さんも一緒に体験してもらえたらありがたいです。盛りだくさんの宅地分譲相談会です。ぜひご家族でお越しください!!お待ちしておりますま~っす(^)/



ウォーキング教室(イメージ写真)



野菜つめ放題(イメージ写真)



重機体験(イメージ写真)

大聖寺福の杜
Facebookページ



詳しい情報は
Facebookページを
ご覧ください

大聖寺福の杜
へは右のQR
コードを読み
取ってください。
Googleマップで
大聖寺福の杜
の場所が表示
されます。



大聖寺福の杜
地図QRコード



大聖寺福の杜(ドローン撮影)



大聖寺福の杜旗陽公園

スタッフ通信

こんにちは！梅雨で過ごしにくい時期ですね。でも、日の長さを利用して家の事をしたり、読書をしたりして、のんびりしてみてもいかがでしょうか。今月も先月に引き続き、スタッフの“思い出の弁当”です。



私が通っていた小学校は、運動会になると、子供達は各町内のテントで家族とお湯を食べてました。運動会も楽しめたんだけど、お湯に食べる手作りのお弁当が大好きで、早くお湯にならないかなと思ってたのを思い出します。今は、母になり、息子の運動会でも、家族みんなでお食べてるので、母の大変さがわかりました。(笑)『全部好き』

総務部 庄源知加子

思い出の弁当は、部活の大会の時に作ってくれた、特大おにぎりです。食べごたえがあってよかったです。

畦地 翔葉

甘いおだしがごはんにしました。おにぎりさん。遠足や運動会の時、とっても楽しみでした。

クリエイション江口 池田理恵

母が作ってくれるお弁当は、いつもおいしいけど、ご飯の上にキンピラごぼうをのせられたときは、めっちゃくちゃ食べぐらかったです。いつもありがとうございます。初音

工事部 中野 初音

手作り弁当はいつの日も、良き思い出です。毎日、ありがとう！だから…こんなに大きくなりました。

工事部 中野 宏昭

妻と結婚前に行った福井県「水晶浜」で食べたお弁当。



工事部 浦 直之

お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、ご意見・ご感想などがございましたらご連絡下さい!!



発行元 **EGUCHI**

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)